







1 青森県特別支援学校キャリア教育取組事例

(2) 地域の人材を活用した授業実践





《 県立盲学校の取組：視覚障害 》

	<p>日本ボーイスカウト青森県連盟 青森市荒川字藤戸119-7 TEL017-739-0660</p> <p>○対象 幼稚部、小学部2・4年</p> <p>○目的 棒パン作りの活動を通して、自分で作って食べる喜びや、仲間と一緒に活動する楽しさを味わう。</p> <p>○内容 パン生地づくり、野外に出てたき火を囲んでの棒パン焼きや歌等の活動を行った。</p> <p>○成果 自分で作って食べる活動を楽しみ、満足感を得ることができた。</p> <p>○課題 時間を増やし、片付けを協力して行う場面を設定するなど、より仲間意識が深まるようにしたい。</p>
	<p>有限会社サカモト 青森市戸山荒井37-29 TEL017-743-6103</p> <p>○対象 中学部1～3年</p> <p>○目的 パンの製造・販売についての過程を知るとともに、パン作りの活動を通じて、働くことの喜びや意義を考え、将来の就労について意欲を持つ。</p> <p>○内容 調理パンの成形、パン生地作り</p> <p>○生徒の感想 パン生地作りはとても力が必要だとわかった。朝早くから長い時間立って仕事をするので、体力が必要だと思った。自分が作ったパンを友達がおいしいと言ってくれたのが、うれしかった。</p>
	<p>英智学館株式会社 青森本校 青森市長島2丁目2-1 TEL017-723-5321</p> <p>○対象 高等部普通科1～3年、保護者</p> <p>○目的 早期からの大学等の受験の準備を促すことにより、学習意欲の高揚を図り、安易な受験を考えている生徒へは、進路をより具体的に考える機会とする。</p> <p>○内容 大学進学の実況及び学習の仕方についての講義</p> <p>○成果 進学に対する意識が高まり、進路をより具体的に考えようとする生徒が増えた。また、模擬試験等を積極的に受けるようになった。</p> <p>○課題 事業所が特別支援教育を理解するために、事前の打ち合わせには十分時間をとる必要があった。</p>





《 八戸盲学校の取組：視覚障害 》

	<p>障害者就業・生活支援センター「みなと」 八戸市廿三日町18 TEL0178-44-0201</p> <p>○対象 中学部（1・2・3年）</p> <p>○目的 作業体験やSSTを通して、働くときの人とのかかわりや、チームワークの大切さを実感する。</p> <p>○内容 ①講話「自己紹介の大切さ」等 ②実習「作業体験（検品の体験）」等</p> <p>○成果 人とかかかわるときに、自分のことや質問したいことなど、相手が分かるように伝えるということが重要であることを学ぶことができた。</p> <p>○課題 日常の中でも学習したことを意識することが必要である。</p>
	<p>美容室「RamaLama」 八戸市大字朔日町12 TEL0178-24-2509</p> <p>○対象 中学部（2・3年）</p> <p>○目的 身だしなみを整える方法や、TPOに合わせた服装とコーディネートについて学ぶ機会とする。</p> <p>○内容 ①講話「身だしなみとコーディネートについて」 ②実習「簡単に寝癖を整える方法」 「私服のコーディネートの仕方」等</p> <p>○成果 身だしなみについて関心を持ち、自分で整えようとする意欲が見られてきた。</p> <p>○課題 服装だけでなく、身だしなみをはじめとするエチケット全般に気を付けるように意識を高めることが必要である。</p>
	<p>青森中央短期大学青森食育サポーター事務局 青森市横内字神田12 TEL017-728-0121</p> <p>○対象 小学部（2・4・6年）</p> <p>○目的 地元の特産品を使った調理活動を通し、自分たちが住んでいる青森県や八戸市に興味を持つとともに、経験の拡大を図る。</p> <p>○内容 実習「いかを使った『いかひつつみ』作り」等</p> <p>○成果 調理活動を通して、食材がさまざまに変化していく様子を感じ取ることができた。講師との触れ合いを通して、普段と違う経験ができた。</p> <p>○課題 材料費や講師への謝礼などの経費を確保すること。</p>

《 青森聾学校の取組：聴覚障害 》

	<p>作龍企画工芸（青森ねぶた制作者） 青森市浪館前田1-8-5 TEL 017-781-4220</p> <p>○対象 小学部1・2・4学年 3名（男子3名） ○目的 ねぶた作りの話を聞いたり、金魚ねぶた作りをしたりすることを通して、仕事をする楽しさと難しさについて知る。 ○成果 校外学習で事前にワ・ラッセに行っていたこともあり、金魚ねぶた作りに興味を持つことができた。</p>
	<p>コンディトライ カフェ キーフアルンバウム 青森市浪打1-18-4 TEL 017-741-0072</p> <p>○対象 中学部2・3学年 6名（男子2名、女子4名） ○目的 「パティシエとは」という講話を聞き、その後にケーキ作り実習を行うことによって、パティシエという職業を知り、自分の将来について考える。 ○成果 講義と実技指導を通して、ケーキ作りの楽しさ、難しさ等を知ることができた。</p>
	<p>ポーラエステinn八甲営業所ビューティーアドバイザー 青森市安田字近野116-18 TEL 017-781-8150</p> <p>○対象 高等部3学年 4名（男子1名、女子3名） ○目的 洗顔方法や身だしなみ、基礎化粧品の使い方について説明を受け、体験することによって、社会人として必要な身だしなみを身に付ける。 ○成果 洗顔や化粧品の使い方を教えてもらうことによって身だしなみの大切さについて知ることができ、身だしなみを整える意識を高めることができた。</p>
	<p>株式会社 豊田自動織機社員（青森聾学校卒業生） 愛知県刈谷市豊田町2-1 TEL 0566-22-2530</p> <p>○対象 高等部1～3学年 10名（男子3名、女子7名） ○目的 「社会人として、働くこととはどのようなことか」というテーマで先輩から話を聞くことによって、働くことのきびしさややりがいについて知る。 ○成果 職場での体験談を聞くことによって、コミュニケーションや人間関係の大切さを知ることができた。また、自分に不足しているところをどのように補っていくのか、具体化することの必要性について考えることができた。</p>





《 弘前聾学校の取組：聴覚障害 》

	<p>小林りんご園</p> <p>○対象 小学部1、4学年 6名(男子2名、女子3名)</p> <p>○目的 リンゴを育てる作業や収穫の作業の体験を通して、身近な仕事への興味を深める。また、社会には様々な仕事があることを知る。</p> <p>○成果 リンゴにシールを貼る作業とシールをはがす作業を経験した。絵や文字が浮き上がったりんごを見て、作業の大変さを振り返り、充実感・達成感を味わうことができた。</p>
	<p>本校卒業生 (SAJ公認スキー準指導員)</p> <p>○対象 小学部4学年 2名(女子2名)</p> <p>○目的 聴覚障害者の先輩からスキーの実技指導をしてもらう経験を通して、自身の障害を振り返る契機とする。</p> <p>○成果 実技指導を通して、ノンバーバルコミュニケーションの大切さを再確認し、自分たちの障害を振り返る契機となった。また、聴覚障害者の先輩には様々な分野で活躍している人たちがいることを知り、自分たちの将来について夢や希望を持つことの大切さに気づくことができた。</p>
	<p>津軽みらい農業協同組合 田舎館グリーンセンター 田舎館村大字枝川館子145-1 TEL 0172-58-3638</p> <p>○対象 小学部1、2、5学年 6名(男子2名、女子4名)</p> <p>○目的 豆腐を作る作業を通して、身近な食べ物が手間暇をかけて作られていることを知る。また、社会には様々な仕事があることを知る。</p> <p>○成果 豆腐作りの工程を目の当たりにし、身近な食べ物への関心を高めることができた。また、作業することの楽しさを味わうことができた。</p>
	<p>知的障害者通所授産施設 ワークショップ大鰐 大鰐町大字虹貝字篠塚33-11 TEL 0172-48-3662</p> <p>○対象 小学部1、2、5学年 6名(男子2名、女子4名)</p> <p>○目的 社会には様々な仕事があることを知る。また、働いている人たちを見学することを通して、働くことの大切さを知る。</p> <p>○成果 様々な障害を有する人たちが協力しながら働く様子を見学することにより、自分のできる仕事を考える機会となった。</p>

《 八戸聾学校の取組：聴覚障害 》



	<p>(財) エム・オー・エー美術・文化財団青森支部 八戸市柏崎6-29-16 TEL 0178-45-3145</p> <p>○対象 幼稚部全幼児5名(男子2名、女子3名)</p> <p>○目的 生け花やお茶の指導を通して、余暇の過ごし方や日本の文化に対する意識、興味関心を高める機会とする。</p> <p>○成果 茶室風に会場を設定し、実際に花を生けたり、お茶を点てたりする経験をした。一つ一つの動きを緊張感を持って取り組むことができた。</p>
	<p>八戸市ろうあ協会 八戸市根城8-8-155 TEL 0178-45-0561</p> <p>○対象 小学部1～6学年15名(男子5名、女子10名)</p> <p>○目的 本校卒業生である成人ろう者との交流を通して、自身の将来像を抱くきっかけとする。</p> <p>○成果 自分の手話表現が成人ろう者に伝わらない経験をし、相手を意識したコミュニケーションについて気づく貴重な機会となった。</p>
	<p>創作太鼓 響 八戸市江陽4-12-7-1 TEL 080-1859-3220</p> <p>○対象 小学部1～6学年11名(男子4名、女子7名) 中学部1・2学年5名(男子1名、女子4名)</p> <p>○目的 地域で活躍する和太鼓演奏家の演奏を聴いたり、指導を受けたりして、伝統文化のすばらしさに触れる。</p> <p>○成果 実技指導では、基本的な奏法を学習し、講師をよく観察して模倣したり、積極的に質問したりするなど、有意義な時間を過ごすことができた。</p>
	<p>障害者就労・生活支援センター みなと 八戸市廿三日町18番地 TEL 0178-44-0201</p> <p>○対象 中学部1・2学年4名(男子2名、女子2名)</p> <p>○目的 職場体験に対する意識を高め、働く心構えを持つ機会とする。</p> <p>○成果 目前に迫った職場体験を前に、働く上で大切な事柄について、深く考えることができた。実際の職場体験でも、担当者の話した注意を生徒達が意識して行動できた。</p>

《 青森第一養護学校の取組：肢体不自由 》

	<p>○協力事業所名：A T V（株）青森テレビ TEL017-741-2233</p> <p>○対象 中学部1組（1～3年）</p> <p>○目的 社会自立に向けて必要な習慣を身に付ける。</p> <p>○内容 話し方マナー</p> <p>○成果 テレビで見るアナウンサーが講師のため、緊張しつつ熱心に学ぼうとする姿勢がうかがえた。相手に話がよく伝わるよう顔を上げることを意識する等、改まった場での話し方に変容が見られている。</p> <p>○課題 日常生活においては、自分から依頼や質問をしようとするのが少なく、受け身の態度が目立つ。</p>
	<p>○協力事業所名：日本原燃(株) TEL 0175-72-3311 福祉ショップ西部 TEL 017-788-0144</p> <p>○対象 小学部わかくさ（2～6年）、中学部1組（1～3年）</p> <p>○目的 学校卒業後の進路や将来の生活について考える。</p> <p>○内容 ようこそ先輩（進路講話）</p> <p>○成果 卒業生の体験談は、自分の進路を考えるきっかけになった。先輩と自分を比較して、自分に足りないことやできないこと等に気付く児童もいた。</p> <p>○課題 仕事の内容について、写真で様子を提示したり、完成した製品を展示したりして紹介したが、今ひとつ理解することが難しかった。講話だけでなく、職場見学や作業体験をする等、具体的な活動を通して働くことへの関心を高めることが必要であった。</p>
	<p>○協力事業所名 あすなる医療療育センターTEL017-781-0174</p> <p>○対象 中学部1組（1～3年）</p> <p>○目的 働くために必要な力に気付く。身近な人の仕事や職業に関心をもつ。</p> <p>○内容 職場体験（タオルたたみ）</p> <p>○成果 決められた量をこなすことができ、達成感を味わえた。また、働くことの大切さを感じることができた。</p> <p>○課題 洗濯量が少なく短時間で終了したので、人数や目的に合わせた量の確保等、十分な打ち合わせが必要であった。</p>
	<p>○協力事業所名：インドレストラン「Taji」 TEL017-752-6271</p> <p>○対象 中学部2組（1～3年）</p> <p>○目的 カレー作りを通して、外国の人や食文化に触れる。</p> <p>○内容 インド人から学ぶ本格カレー作り</p> <p>○成果 本場の香辛料やプロの手さばきに目を見張って注目する生徒が多かった。日頃、馴染んでいる日本のカレーと比較して、インドカレーに使う材料や辛さ等から、違いに気付くことができた。</p> <p>○課題 日常生活では、外国の人と接する機会が少ないため、広がりや深まりは難しい。</p>

《 青森第一高等養護学校の取組：肢体不自由・知的障害 》

 	<p>太平ビルサービス株式会社 青森市勝田一丁目18-7 (017-774-1521)</p> <p>○対象 肢体不自由1～3年 知的障害 1～3年 計34名</p> <p>○目的 正しい清掃用具の使い方や掃く、拭く等の基本的な動作を学び、卒業後の就労や自立した生活に役立てる。</p> <p>○内容 清掃実習（講義・演習）</p> <p>○成果 清掃用具の正しい使い方や清掃手順を初めて知った生徒もおり、意欲的に取り組む姿勢が見られた。また、実習後は教室、食堂等で指導された内容を実践している様子が見られた。</p> <p>○課題 卒業後に活用・実践できるように般化させていくための工夫が必要である。</p>
 	<p>よさこいグループ「舞鼓童」 青森市筒井八ツ橋91-60 (017-728-6818)</p> <p>○対象 全校生徒 計61名</p> <p>○目的 地域で活躍している講師の指導によるよさこいダンス体験を通して、よさこいにかける生き方を学んで自分の生き方を考える機会とする。</p> <p>○内容 よさこいダンス教室（鑑賞・体験）</p> <p>○成果 近くで迫力ある演舞を観たり、楽しく体を動かしたりすることにより、卒業後の余暇活動の一つとして、興味・関心を持つきっかけとすることができた。</p> <p>○課題 卒業後の余暇活動にどのようにして結び付けて具体的に指導していくか、事後指導の工夫が必要である。</p>
 	<p>青森市役所 青森県消費生活センター 青森市中央一丁目22-5 (017-734-1111)</p> <p>○対象 肢体不自由、知的障害3年 計22名</p> <p>○目的 最近の悪質商法の手口及び携帯電話による被害の事例を知り、被害にあわないために必要な知識を身に付ける。</p> <p>○内容 悪質商法学習会（講義・演習）</p> <p>○成果 教師が実際にある悪質商法についてロールプレイすることで、関心を持ちながら話を聞くことができた。</p> <p>○課題 悪質商法の手口は多様化・巧妙化してきているので、継続して指導していく必要がある。</p>

	<p>有限会社 はなみやこ 弘前市大字泉野4丁目2の1 2 (0172-87-5206)</p> <p>○対象 高等部1～3年 計9名</p> <p>○目的 (1) 施設等で行っているフラワーアレンジメントの経験をし、卒業後の余暇活動の幅を広げる。 (将来設計能力：やりがい、いきがい) (2) 挨拶やお礼、活動などのやりとりを通して、外部講師とのかかわりを体験する。(人間関係形成能力：挨拶、意思表示、協力、共同)</p> <p>○内容 フラワーアレンジメント</p> <p>○成果 生徒は花の匂いや名前に興味を示して楽しく活動できた。経験のある生徒は、講師の指示を聞きながら集中して取り組むことができた。</p> <p>○課題 関係施設でも教えている講師の方なので、卒業後につなげていくためと継続していくための活用の工夫。</p>
	<p>音楽療法士 桜庭 由美 氏 弘前市駒越字村元17-4 (0172-34-3285)</p> <p>○対象 小学部1～5年 計14名</p> <p>○目的 (1) 音楽に親しみながら心身のリラックスを図るとともに、楽しさを全身で表現する。 (人間関係形成能力：意思表示、将来設計能力：夢や希望) (2) 挨拶やお礼などのコミュニケーションスキルの向上を図るとともに、人とのかかわりを楽しむ。 (人間関係形成能力：人とのかかわり、挨拶)</p> <p>○内容 歌遊び、リズム遊び、音楽鑑賞</p> <p>○成果 行った内容を、学校の授業でも取り入れたところ、大きく発声したり、進んで身体を動かしたりと、音楽に意欲的に取り組む様子が見られた。また、余暇活動として桜庭先生のレッスンを受けたいと話し、実際にレッスンを受けに行った児童がいた。</p> <p>○課題 小学部段階において、どのような人材を活用した授業が児童の将来や生活により生きていくのか、学部での十分な検討が必要。</p>

《 八戸第一養護学校の取組：肢体不自由 》

	<p>こどものアトリエ パオバブ 八戸市新井田字塩入10-4 TEL 080-5585-2888</p> <p>○対象 小学部B類型児童1～6年生 26名 ○目的 おからの感触を味わい、造形活動を行う。 余暇活動の幅を広げる。 ○内容 おからを使った造形活動（グループ毎活動） ○成果・課題 感触を楽しみながら、おにぎり、餃子、卵焼き、ポテトサラダ、ハンバーグを作ったり、できたものを使って各自の弁当を作ったりした。少しの支援・援助で本物に近いものができあがった。ただ、素材的に作品として残せなかったのが残念であった。</p>
	<p>民間読み聞かせボランティア 三沢市幸町1-11-10 B-60 B TEL 090-2848-9108</p> <p>○対象 小学部C類型児童20名、中学部C類型生徒17名 ○目的 ピアノや歌をまじえた絵本の読み聞かせの楽しさを味わうとともに、余暇活動の幅を広げる。 ○内容 絵本の読み聞かせ鑑賞会 ○成果・課題 笑顔を見せたり、じっと視線を送ったりして、普段なかなか聞くことのできない専門の方の読み聞かせを楽しむ様子が見られた。</p>
	<p>大久保えんぶり組 八戸市岬台1丁目7-16 TEL 0178-33-8553</p> <p>○対象 小学部A類型児童4～6年生 11名 ○目的 郷土文化のえんぶりについて理解や経験を深める。生活する力や社会参加に向けての自信を深める。 ○内容 えんぶりに関するいろいろな知識及び体験学習 ○成果 地域の伝統芸能について興味関心を深めることができた。また、指導していただいたことを学習発表会の中で発表することができた。 ○課題：次年度にどのようなようにつなげるか。</p>
	<p>八戸市障害者地域生活支援センターハピア 八戸市類家4-3-1 TEL 0178-34-5765 障害者支援施設 青森ワークキャンパス 八戸市櫛引字上矢倉2-1 TEL 0178-27-3811</p> <p>○対象 高等部 全学年・全学級生徒 39名 ○目的 将来の進路についての意識を深め、働くことへの意欲や心構えを持つ。 ○内容 「後期 産業現場等における実習」報告会 ○成果・課題 友だちの発表や講師の助言を通し、多くの事業所や施設のことを知ったり、働くことや自分の進路への意識をより高めたりすることができた。また、前期の反省をもとに、発表方法を工夫したことで、会の流れがスムーズに進んだ。</p>

《 青森第二養護学校の取組：知的障害 》





	<p>青森市戸山町内会 浪岡セチ子 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象 中学部 1～3 学年 ○目的 米の栽培を通して働く経験をする。 ○内容 田植え、稲刈り ○成果 毎日食べているお米の成長過程を知ることができた。 ○課題 仲間と協力して作業する力を高めること。
	<p>株式会社 五光 代表取締役 圓山源作 氏 東津軽郡平内町外童子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象 高等部作業学習農耕班 1～3 学年 ○目的 堆肥づくりを学ぶ。 ○内容 栽培した農作物の茎や葉を活用した堆肥づくり ○成果 栽培した作物の枝や除草した草などから堆肥をつくることを理解することができた。 ○課題 責任感を持って集中して作業する力を高めること。
	<p>青森市戸山町内会 浪岡セチ子 氏 他 3 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象 高等部作業学習農耕班 1～3 年 ○目的 漬物づくりの一連の作業を学ぶ。 ○内容 漬物づくり ○成果 大量の大根を手際よく切り、加工することができた。 ○課題 長時間立った姿勢で加工作業に取り組む体力を付けること。
	<p>青森市戸山町内会 浪岡セチ子 氏 他 3 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象 高等部作業学習農耕班 1～3 年 ○目的 しめ縄づくりの一連の作業を学ぶ。 ○内容 しめ縄づくり ○成果 しめ縄づくりの一連の作業を分担し、責任を持ってそれぞれの作業に取り組むことができた。 ○課題 細かな作業にもあきらめないで取り組む力を付けること。

このほか、浪岡セチ子氏他 3 名の講師による中学部での「もちつき」を計画実施した。





《 青森第二高等養護学校の取組：知的障害 》

	<p>アップルパレス青森 青森市本町 5 丁目 1-5 TEL723-5600</p> <p>○対象 3 学年</p> <p>○目的 喫茶サービスの体験を通して接客のマナーやサービスについて知る。</p> <p>○内容 校内喫茶</p> <p>○成果 コップやティーカップの置き方、動作等について細かい所を見て確認することができた。生徒達は真剣に取り組み常に笑顔で接客することが大切だと知ることができた。</p> <p>○課題 グループ毎の指導になるため回数が少なくなってしまうグループもあった。</p>
	<p>資生堂販売株式会社 東北支社北東北支店青森オフィス 青森市本町 1-2-15 TEL721-0240</p> <p>○対象 寄宿舎生 3 学年 2 3 名 (男子 1 9 名、女子 4 名)</p> <p>○目的 卒業後の社会生活に備え、身だしなみと化粧の仕方を身に付ける。</p> <p>○内容 (1) 体験 ア 男子…洗顔の仕方 (食堂・男子棟洗面所) イ 女子…化粧の仕方 (女子棟洗面所・女子棟学習室)</p> <p>(2) 講話…身だしなみ、姿勢と挨拶の仕方等 (食堂)</p> <p>○成果 サンプル冊子を使って化粧の仕方を教わり、とても分かりやすかった。講師の話を良く聞き、真剣に取り組んでいる様子が窺えた。</p> <p>○課題 日程の都合上、一回のみの実施となった。</p>
	<p>徳差平一 氏 (青森市在住)</p> <p>○対象 1 学年</p> <p>○目的 長年農業等の指導に携わってきた方を講師とすることで、より実践的な指導の充実を図り、生徒の働く力と生活する力を向上させ、生徒のより一層の進路実現をめざす。</p> <p>○内容 農業及び清掃実技研修</p> <p>○成果 本校に勤務経験があるため、生徒の実態に合わせた指導をしていただいた。専門的な農業の知識や技術を指導していただくことで、生徒だけではなく教師にとっても専門性の向上につながった。</p> <p>○課題 期間が空いてしまうことが多かった。講師の方にとっては、同じ作業を継続して指導していただいた方がよかったと思われる。</p>
	<p>徳差平一 氏 (青森市在住)</p> <p>○対象 1 学年</p> <p>○目的 長年農業等の指導に携わってきた方を講師とすることで、より実践的な指導の充実を図り、生徒の働く力と生活する力を向上させ、生徒のより一層の進路実現をめざす。</p> <p>○内容 農業及び清掃実技研修</p> <p>○成果 本校に勤務経験があるため、生徒の実態に合わせた指導をしていただいた。専門的な農業の知識や技術を指導していただくことで、生徒だけではなく教師にとっても専門性の向上につながった。</p> <p>○課題 期間が空いてしまうことが多かった。講師の方にとっては、同じ作業を継続して指導していただいた方がよかったと思われる。</p>
	<p>徳差平一 氏 (青森市在住)</p> <p>○対象 1 学年</p> <p>○目的 長年農業等の指導に携わってきた方を講師とすることで、より実践的な指導の充実を図り、生徒の働く力と生活する力を向上させ、生徒のより一層の進路実現をめざす。</p> <p>○内容 農業及び清掃実技研修</p> <p>○成果 本校に勤務経験があるため、生徒の実態に合わせた指導をしていただいた。専門的な農業の知識や技術を指導していただくことで、生徒だけではなく教師にとっても専門性の向上につながった。</p> <p>○課題 期間が空いてしまうことが多かった。講師の方にとっては、同じ作業を継続して指導していただいた方がよかったと思われる。</p>
	<p>徳差平一 氏 (青森市在住)</p> <p>○対象 1 学年</p> <p>○目的 長年農業等の指導に携わってきた方を講師とすることで、より実践的な指導の充実を図り、生徒の働く力と生活する力を向上させ、生徒のより一層の進路実現をめざす。</p> <p>○内容 農業及び清掃実技研修</p> <p>○成果 本校に勤務経験があるため、生徒の実態に合わせた指導をしていただいた。専門的な農業の知識や技術を指導していただくことで、生徒だけではなく教師にとっても専門性の向上につながった。</p> <p>○課題 期間が空いてしまうことが多かった。講師の方にとっては、同じ作業を継続して指導していただいた方がよかったと思われる。</p>





《 八戸第二養護学校の取組：知的障害 》

	<p>障害者就業・生活支援センターみなと 八戸市十三日町18番地 0178-44-0201</p> <p>○対象 高等部3学年 ○目的 卒業後に利用する支援機関についての概要を知る。 ○内容 支援センター長による概要説明と施設見学。 ○成果 卒業後の仕事や生活について、相談できる支援機関の場所や具体的な内容について知ることができた。</p>
	<p>グループホームきぼう 八戸市長苗代字上碓田4-7 0178-70-7383</p> <p>○対象 高等部2学年 ○目的 グループホームの生活に必要なことを学び、卒業後の地域生活について意識を高める。 ○内容 施設長によるグループホームの概要説明とホームの見学。 ○成果 実際にグループホームを見学し施設の様子、生活の仕方などについて、具体的に知ることができた。</p>
	<p>(株)ライケット八戸精米工場 八戸市桔梗野工業団地3-7-50 0178-28-2750</p> <p>○対象 高等部1学年 ○目的 いろいろな事業所の作業内容や求められる力を知る。 ○内容 工場長及び、先輩による概要説明と工場見学。 ○成果 先輩の働いている職場を見学することによって、いろいろな職業があることを知り、働くことの意義や働く上で自分にとって必要なことを具体的に知ることができた。</p>
	<p>就労継続支援A型事業所 はあと・ぴあ虹 八戸市南白山台二丁目17-20 0178-20-9116</p> <p>○対象 高等部1学年 ○目的 福祉施設の作業内容や求められる力などを知る。 ○内容 施設長による施設の概要説明と施設見学。 ○成果 先輩が働く姿を見ることで、働くことの大切さを感じ、自分の卒業後の仕事や生活のイメージを持つことができた。</p>

《 森田養護学校の取組：知的障害 》

	<p>ホテルサンルート五所川原 五所川原市布屋町25番地 TEL 0173-34-8811</p> <p>○対象 高等部作業学習（喫茶サービス班） ○目的 接客サービスについての基本的な技能向上をめざす。 ○成果 感謝の気持ち、優しい気持ち、相手を思いやる気持ちで接客しているというお話を伺ったことで、おじぎをする時の表情や接客時の声のトーンにも変化がみられた。</p>
	<p>森田地区老人クラブ女性部 つがる市森田町森田月見野277番地3 TEL 0173-26-3836</p> <p>○対象 中学部4組（2学年） ○目的 老人クラブとの交流を深めるとともに、交流会で発表するための踊りを覚える。 ○成果 積極的に踊りを教えてもらい、後半には共演して成果を確認することができた。また、お茶会を開いて接待することもできた。</p>
	<p>（福法）和晃会 ジョブサポート八晃園 五所川原市唐笠柳字村崎242 TEL 0173-39-2111</p> <p>○対象 中学部（全学年） ○目的 「働くということ」「働く時の心構え」 について学ぶ。 ○成果 視聴覚機材を使って説明していただいたことで、興味を持って聞くことができた。また、積極的に質問する生徒も多く、働くために大切なことを確認することができた。</p>
	<p>（福法）健誠会 障害者就業・生活支援センター月見野 つがる市森田町森田月見野473-2 TEL 0173-26-4242</p> <p>○対象 高等部7組（3学年） ○目的 面接のマナーや心構えについて学び、実際に体験する。 ○成果 事前に話された面接の流れや注意事項などを思い出しながら緊張感を持って面接に臨んでいた。普段の生徒への問いかけについて工夫が必要であることを感じた。</p>

《 弘前第一養護学校の取組：知的障害 》

	<p>「有限会社ゆめりんご」 弘前市悪戸字芦野156-1 TEL0172-87-6089</p> <p>○対象 小学部4～6年児童 21名 ○目的 身近な仕事についての興味・関心を育てる。 ○内容 棒パン作り教室 ○成果 生地を伸ばして棒に巻き付け、焼くという分かりやすい手順だったので、簡単なパンの作り方を楽しんで体験することができた。 ○課題 パンを作る会社に就職した先輩を講師に招いて、本格的なパン作りに取り組んでみたい。</p>
	<p>「平川市スポレククラブ協会」 平川市小和森種取7-42</p> <p>○中学部全生徒 47名 ○目的 体を動かす楽しさを知り、体力の増進に励む機会とする。 ○内容 エアロビクス教室 ○成果 覚えやすく簡単なダンスで、生徒が主体的に取り組むことができた。 ○課題 1回では効果が薄いので、回数を増やしたい。また、日常の体力づくりの中でも動きを参考にしたい。</p>
	<p>「太平ビルサービス株式会社」 弘前市高田1-13-1 TEL0172-29-1888</p> <p>○対象 高等部2年生徒 20名 ○目的 清掃の仕方について学び、今後の学校生活や社会生活に役立てる。 ○内容 清掃教室 ○成果 床や窓拭きについて、身近な清掃用具の正しい使い方と清掃方法について具体的に学ぶことができた。 ○課題 トイレや流し台などの水回りの清掃や用具の扱いについても実施したい。</p>
	<p>「有限会社青森資材」 板柳町大字福野田字実田47-1 TEL0172-73-2181</p> <p>○対象 高等部1年生徒 8名 ○目的 校内実習で取り組んでいるりんご箱製作において、正しい製作の仕方を学び、興味・関心を高める。 ○内容 りんご箱製作教室 ○成果 実際にりんご箱を製作する手順や様子をし、職人の真剣さや、技術の正確さ、速さを間近で見学することで、活動への意欲につながった。 ○課題 実際の製作について、生徒の実態に合わせた道具や作業環境の工夫が必要である。</p>

《 七戸養護学校の取組：知的障害・肢体不自由 》

	<p>株式会社マエダ むつ市小川町二丁目4番8号 電話 0175-23-0221</p> <p>○対象 高等部・全学年 ○目的 就労するために必要な挨拶や会話の仕方を知る。 ○内容 就労先で必要な挨拶、コミュニケーションの取り方について理解する。 ○成果 就労先での挨拶の仕方、会話の必要性について理解できた。</p>
	<p>育栄管財株式会社 三沢市栄町1丁目31-3808 電話 0176-53-6678</p> <p>○対象 中学部全学年・高等部1学年 ○目的 清掃の仕方を理解する。 ○内容 清掃業務の心構え、用具の名称及び清掃の仕方を理解する。 ○成果 業者清掃の仕方を教えてもらい校内清掃に役だてることができた。 ○課題 参加した生徒の実技の時間がもう少しほしかった。</p>
	<p>工房あぐりの里(就労継続支援A・B型事業所) 上北郡おいらせ町向山2-1684 電話 0178-20-0652</p> <p>○対象 高等部2学年 ○目的 卒業生の就労先での様子を知り、将来の進路選択に役立てる。 ○内容 頑張っていることや、楽しくやっていることなどを聞き、自分の進路について考える。 ○成果 卒業生が実際に体験したことを事前に聞くことができ進路選択するための参考になった。</p>

《 黒石養護学校の取組：知的障害 》

	<p>東英小学校朝の読み聞かせ会</p> <p>○対象 小学部全学年 計11名</p> <p>○目的 (1) 手遊びをしたり、読み聞かせを聞いたりして楽しむ。 (2) 読み聞かせを通して、絵本への興味や関心を持つ。 (3) 本校児童生徒への理解を深めてもらい、地域で活動している読み聞かせ会の方との交流を図る。</p> <p>○内容 大型絵本の読み聞かせ、パネルシアター、ペープサート、手遊び、ダンス</p> <p>○成果と課題 クイズ形式の内容や手遊び、二人一組で踊るダンスを取り入れたことで、名前を呼ばれて返事をしたり、互いに触れ合ったりする機会を持つことができた。児童の実態を伝え、内容を事前に検討したことで、児童が生き生きと活動できた。</p>
	<p>講師 坂本 真実 氏 (平成22年度本校高等部卒業生)</p> <p>助言者 小林 典子 氏 (津軽障害者就業・生活支援センター 就労支援相談員)</p> <p>○対象 高等部全学年計28名</p> <p>○目的 (1) 一般就労した身近な先輩から仕事や現在の生活の様子を聞き、卒業後の自分の進路選択の参考とする。 (2) 集団で話を聞いたり、疑問に思ったことを質問したりする経験を通して、基本的な人とのコミュニケーションのしかたを学ぶ。</p> <p>○内容 働く様子のDVD視聴、先輩の一日、インタビュー、就労支援相談員による話、フォローアップ</p> <p>○成果と課題 知っている人が講師ということと、就労して日頃感じていることや生活のパターン、就業状況についての取材を事前に行い、「いろいろな仕事」「働く力」について関連づけたパワーポイントをみることで生徒の関心が高まり、見通しも持ちやすい。フォローアップの機会としても有効である。</p>

《 むつ養護学校の取組：知的障害・肢体不自由 》

	<p>東洋建物管理株式会社むつ営業所 所長 中嶋 康夫 氏</p> <p>○対象 高等部1～3学年 清掃班生徒 ○目的 清掃の正しいスキルを学ぶ。 ○内容 ビルメンテナンス検定1級合格をめざす。 ○成果と課題 本校独自の清掃マニュアルとビルメンテナンス技能検定を事業所と協同で企画し、取り組むことができた。</p>
	<p>製菓衛生師 山元 秋実 氏</p> <p>○対象 高等部1～3学年 菓子製造班生徒 ○目的 商品の開発や、菓子製造の楽しさを学ぶ。 ○内容 販売に向けての商品開発とスキルの獲得。 ○成果と課題 プロから直接指導してもらったことが、より質の高い商品の開発や生徒一人一人のスキルの向上につながることができた。</p>
	<p>金谷沢サンクチュアリ代表 齋藤 達也 氏</p> <p>○対象 中学部1～3学年 7名 ○目的 地域の方々との触れ合う経験や、余暇活動の拡大を図る。 ○内容 乗馬体験や炊飯活動を、地域の方と協力しながら行い、1日楽しく過ごす。 ○成果と課題 経験の拡大を図ることができた。</p>
	<p>むつ市ウエルネスパーク インストラクター 今 美香 氏、藤川 真衣 氏</p> <p>○対象 中学部生徒、奥内小学校、近川中学校 ○目的 三校交流学习を通して、仲間作りと身体を動かす楽しさを味わう。 ○内容 みんなで協力しゲームやエアロビクスを楽しむ。 ○成果と課題 障害の有無にかかわらず生徒同士協力する場面が多くあり、三校の交流が深まった。</p>
	<p>武太郎工房 窯元 佐藤 武 氏</p> <p>○対象 小学部4～6学年 6名 ○目的 ものづくりの楽しさや達成感を味わう。 ○内容 粘土に触ったり、好きな形を作ったりしながら粘土で遊ぶ。 ○成果と課題 作りたい物、使いたい道具を自分から講師に伝え、かかわる場面が多く見られた。</p>

《 青森若葉養護学校の取組：病弱・虚弱 》



株式会社マエダ

むつ市小川町 2-4-8 TEL:0175-22-8333

- 対象 高等部生徒
- 目的 働くことや社会参加していくために必要な力を知り、自分の課題について考え、今後の学校生活や実習において目標を持つための手だてとする。
- 内容 テーマ「社会参加に向けて」
- 成果 就労するために必要なことの基本を学習できた。
- 課題 日常生活と併せて勤労観を養っていく。



自立生活センター青森

青森市金沢 3-25-15 TEL:017-718-7107

- 対象 中学部生徒
- 目的 自立と社会参加への理解を深め、今後の学校生活において自分の課題や目標について学習する手だてとする。
- 内容 テーマ「自立と社会参加に向けて」
- 成果 夢を持つことの大切さを話し合う良い機会となった。
- 課題 自己理解をより進めていく必要がある。



B-line! 青森松原店

青森市松原 3-9-47 エクセレンス松原 1F 号 TEL:017-721-1139

- 対象 全校生徒、職員
- 目的 エアロビクス体験を通して、健康な身体づくりに必要な要素についての理解を深める。
- 内容 テーマ「楽しく体を動かそう」
- 成果 実際に身体を動かしながら、運動の楽しさや必要性を実感できた。
- 課題 継続できる身体づくりや運動への拡大を図る。



太平ビルサービス株式会社

青森市勝田 1-18-7 TEL:017-774-1521

- 対象 高等部生徒
- 目的 清掃業務についての理解を深め、将来の働く生活に向けての自分の課題を意識し、自立生活と社会参加に向けて進んで取り組もうとする意欲の向上を図る。
- 内容 テーマ「プロの指導による清掃業務の基本」
- 成果 清掃業務の理念、道具の使用法や動きの実際を教授いただいた。
- 課題 校内実習や日常の学習とのつながりを拡大する。



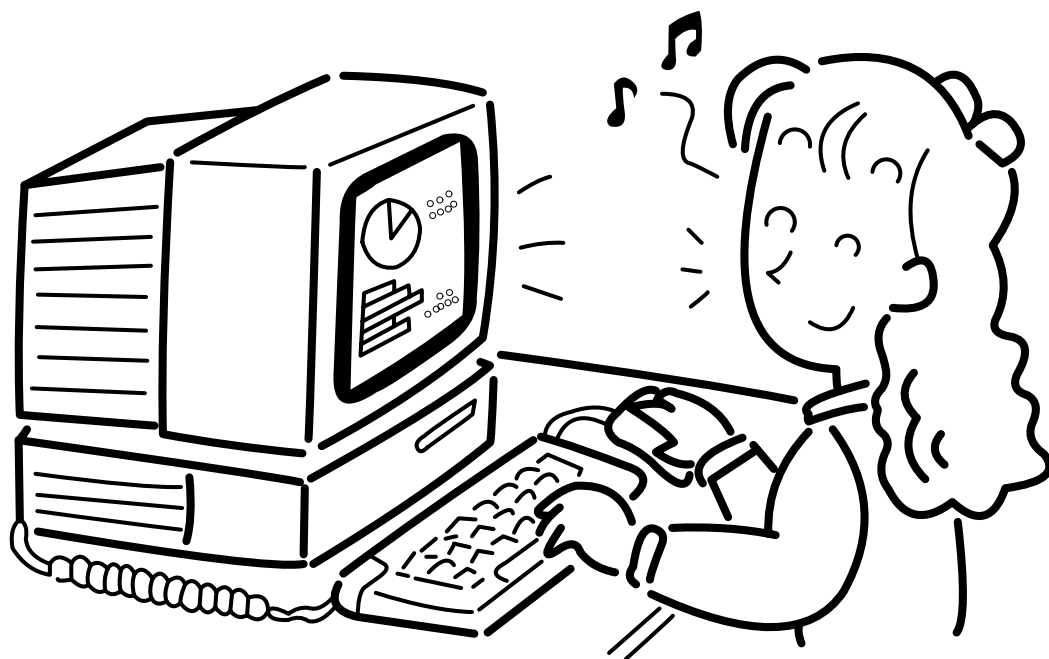
NPO 法人 SAN Net 青森

青森市新町 1-13-7 和田ビル 4F TEL:017-732-7741

- 対象 保護者、職員
- 目的 児童生徒の将来のあり方や生き方、社会参加への理解を深める。
- 内容 テーマ「社会参加に向けて」
- 成果 支援業務の実際と病気の治療をしながら社会生活を送ることについての理解を深めた。
- 課題 生徒本人の課題意識へのアプローチを今後検討したい。

《 浪岡養護学校の取組：病弱・虚弱 》

	<p>キャリアール代表 長岡 るみ子 氏 青森市小柳2-15-2 TEL:017-742-8024</p> <p>○対象 高等部・中学部普通学級生徒、職員、全校保護者（希望者）</p> <p>○目的 (1) 現場実習や職場体験に向けて、また社会人としての基礎を身に付けるために、対人スキルを確認し、意識を高める機会とする。 (2) ロールプレイを中心に進め、自己評価と他者評価の比較を通して気づきを促す機会とする。</p> <p>○内容 接遇の5原則（挨拶、表情、態度、身だしなみ、言葉遣い）、笑顔レッスン、報告・質問のロールプレイ</p> <p>○成果 現場実習や職場体験の事前学習としての意識や意欲の向上</p> <p>○課題 自己評価と他者評価を比較できるチェックシートの作成と活用</p>
	<p>AOMORI花嵐桜組リーダー 小野 郁子 氏 弘前市城南4-6-23 TEL:090-8928-3582</p> <p>○対象 全校児童生徒、職員、全校保護者（希望者）</p> <p>○目的 地域のダンス普及に尽力している方を講師としたダンス指導を通して、余暇活動の拡大や体力の向上を図る。</p> <p>○内容 エアロビ、選曲ダンス指導</p> <p>○成果 余暇活動や身体の使い方の意識の向上</p> <p>○課題 病気や障害の状況に応じた楽しみ方の拡大</p>
	<p>工房代表 蛭沢 博行 氏 青森市浪岡王余魚沢1-18（旧王余魚沢小学校内） TEL:090-1497-3546)</p> <p>○対象 高等部課題学習コース生徒、職員</p> <p>○目的 これまでの作業について、発注者による評価及びこれからの製作ポイントの助言を通して、本校の生徒が商品製作の厳しさを仕事に対する責任を意識し、学習への意欲を高める機会にする。</p> <p>○内容 外注「ふくろうの起き上がり小法師」の製作指導</p> <p>○成果 商品や自分の仕事に対する意識や意欲の向上</p> <p>○課題 作業工程と働く喜びの拡大</p>



1 青森県特別支援学校キャリア教育取組事例

(3) 各地域のスクールジョブマネージャーの取組

ア 東青地域スクールジョブマネージャー 加川 史 氏

ホップ（18年＝盲・聾・養護学校就職力アップ推進員）、
ステップ（20年＝特別支援学校フォローアップ支援員）、
ジャンプ（22年＝スクールジョブマネージャー）と6年
間継続された、特別支援学校の重点事業もいま、その着地
点を見出そうとしている。



この間、障害者法定雇用率（1.8%）をPR材料に、新規
協力事業所の開拓を積極的に展開し、希望する生徒の一般
就労にそれなりの実績が上がったものの、働く意識の低さ
等に起因する短期離職者に対応するため、就職した卒業生
のフォローアップにも取り組んできた。

平成22年度からは、特別支援学校キャリア教育充実事業の一環として、地域や
産業等と連携した進路指導や就労生活支援に対しての、連絡調整窓口も担当する
ことになった。

「主たる取組状況」

- (1) 担当校・職場・事業所・施設等の訪問
50日 延べ58企業（内新規事業所 16企業）
- (2) 県内ハローワーク・地域支援センター訪問
9事業所（延べ15回）
- (3) ゲストティチャー
 - イ) 模擬面接の実施 3校（6日 7名）
 - ロ) 現場実習事前研修 3日 延べ3時間
 - ハ) 研修会（助言者） 2日 2回
- (4) 進路支援会議への出席
 - イ) 青二高養四者面談会（3年生 18名） 4日
 - ロ) 青二高養三者面談会（2年生 28名） 5日
- (5) 現場実習生徒への激励
青二高養生：対象生8名 8企業 5日

「おわりに」

社会的、経済的不況が続く今日、障害者雇用企業の現場は依然として厳しい。

特別支援学校の一般就労では、自己の適性や能力を理解してくれる企業の新規開拓
と併せて、再度の協力事業所の掘り起こしも重要。一方、生徒に対しては、ただ就労
ありきではなく、希望職種への就職指導の取組も求められる。それには、各種の支援
センター機能と行政機関の助成金制度等を活用した連携プレーが不可欠と感ずる。

平成23年4月から青森県立森田養護学校に勤務しました。スクールジョブマネージャーの他に、障害者就業・生活支援センター月見野に第1号職場適応援助者として勤務しています。森田養護学校勤務以前からセンター月見野の就業支援員として、在学中の生徒の進路に関することや卒業後就職した生徒の職場定着支援等を行っていました。そのような経験はありましたが、スクールジョブマネージャーとして学校に勤務することには不安と緊張が多々ありました。



実際に授業に参加して見ると、先生方が集団の中において、生徒一人一人の実態に対応した授業を実践していました。決して無理強いすること無く、待時は待つ、可能性のある時には積極的に引き出す等、成功体験を積み重ねていく授業内容に深く感銘を受けました。

生徒は授業で習得した事と併せて、産業現場等における実習を行うことによって、ぐんぐん力を付けます。さらには、前期・後期のみならず、夏休みや冬休み中も企業等の実情に合わせた実習を積み重ねることによって、学校生活とは違う環境での実践により、緊張感や達成感を体験します。また、就職を希望している生徒にとっては、企業での実習が就職に向けた動機づけやきっかけにもなります。従って実習前には、ミスマッチが起きないように、生徒・保護者と話し合い、しっかりと将来の目標を設定して実施しています。このことは福祉的就労を希望する生徒となんら変わることはありません。

この一年間で特に印象に残っていることは、生徒の一人がアビリンピック知的障害者の喫茶サービス部門に参加したことです。日頃の挨拶の声の大きさを意識したり、接客用語の練習をしたり、姿勢を直したりして挑みました。本番では、緊張しながらも練習した成果を十分発揮できたと感じています。残念ながら最優秀賞・優秀賞にはとどきませんでした。生徒は充実感と悔しさを同時に感じた様子で、結果発表後に「来年は優勝する」と話していました。自分の間違った個所を認識し、同時に成功する手立てを見つけるとともに、新たな目標ができたようです。

報告会でアビリンピックの様子を聞いた喫茶サービス班では、「来年は自分も参加したい」という声が聞かれるなど、みんなの士気が高まりました。また、このことは、これから喫茶サービス班を希望する一年生の目標ともなりました。

スクールジョブマネージャーとしての業務遂行というよりも、生徒や保護者、校長先生、進路指導の先生をはじめ全ての先生、さらには地域の方に支えてもらいながらの一年でした。生徒たちが将来、どのような仕事をして、どのような生活をしていくのか楽しみに思っています。新年度からはスクールジョブマネージャーの任を離れて、障害者就業・生活支援センター月見野の業務に戻りますが、スクールジョブマネージャーとしての経験を大いに生かして、学校との関係性を続け、卒業生のサポートにより一層力を発揮していきたいと思っています。

ウ 中南地域スクールジョブマネージャー 佐藤 昭弘 氏

(ア) 本校の概要と進路状況

生徒数は小学部61名、中学部48名、高等部54名、合計163名（平成24年1月現在）が在籍している。毎年増加傾向にある。

平成23年度、高等部卒業予定の生徒は12名（男子8名、女子4名）で、事業所への就労希望者が2名、職業訓練校が1名、就労移行支援事業所が1名の他、福祉施設利用希望者が8名である。（平成24年1月現在）

平成22年度高等部卒業生は11名（男子9名、女子2名）で、進路先の内訳は事業所が希望者全員の3名、福祉施設利用者が8名であった。



(イ) 就労へ向けて

就労希望者には、実習の目標である「就業体験を通して、高等部卒業後の職業生活や社会自立に必要な態度や技能、知識を身につける他、個々の生徒の適性を把握し、進路決定のために、社会経験を重ねる機会とする」など、実習の充実こそ就労の近道となる。

平成23年度の産業現場等における実習は、前期が11事業所に14名、後期が16事業所へ18名であった。（新規事業所は9カ所）

そこで、重点項目を掲げ、次のように取組んだ。

- ① 働く意欲：一番大事なことは意欲があること。本校卒業生の一人は「人のために働き、親を楽にしてあげる」という動機を持ち、現在も明るく、元気に働いている。
- ② 挨拶：急に挨拶ができるようになることは困難である。幼い頃からの習慣によって、自然に可能となる。家庭、学校、職場等は挨拶に始まり、挨拶に終わる。明るい、元気な挨拶は周囲を明るくし、同僚と仲良くなれる秘訣である。周囲の人たちと仲良くなることにより、自分の意見を述べることができ、事業所の業績のアップにも繋がる。挨拶は相手の心を開く。
- ③ 素直であること：「すみません」「ありがとうございました」と謙虚な態度こそ、先輩、同僚から好まれる。早く職場に慣れ、職場が楽しくなる。
- ④ 体力を養うこと：就労は毎日の仕事を継続することに意義がある。労働に疲れを感じ、指定された量をこなせない体力は就労の継続が断たれる原因となる。

「働く」とは人偏に動くと書く。人が動くことは「働く」ことである。

以上、この2年間、スクールジョブマネージャーとして、学校、関係機関、事業所との潤滑油になったことによって、本事業に貢献し、成果につながったことを確信する。

エ 上北地域スクールジョブマネージャー 高田 幸雄 氏

(ア) 七戸養護学校が行う地域の人材による就労及び生活の支援体制の組織化の支援

本校及び昨年設立された「三沢地区障がい者就労支援連絡会」とは別のルートで地域の人材の把握、特別支援学校の説明を各市町村の経済団体並びに税理士・社会保険労務士事務所等を訪問し、関係先事業所へのPRを依頼するとともに社員募集及びインターシップへの協力の情報提供を重点的に行った。



(イ) インターンシップへの協力や職業定着のための事業及び施設等への訪問

地域就労生活支援連絡会の開催を障害者就業・生活支援センターみさわの協力を得て実施するため、学校並びに障害者就業・生活支援センターみさわ及び各市町村・福祉施設等との連絡調整や資料作成・開催案内配布の協力を行った。

(ウ) 課題

これまで、上十三地区の事業所・経済団体等を訪問し、特別支援学校及び高等部生徒の現場実習や就労等について、機会あるごとに事業所の職員に説明・協力をお願いしてきましたが、地区内の有力企業等の特別支援学校の生徒に対する認識が思った以上に低く、この現状では、地域全体の組織的な支援は非常に困難と思われる。

(エ) 今後の取組

各地区の地域住民に特別支援学校並びに障害者の認識していただけるようあらゆる機会と捉え市町村・町内会等のイベントへ積極的に周知徹底を図ることが重要であると思われる。

さらには、私たちが日々経験を積み重ねていくような、人と人とのつきあいというのは、特別支援学校の児童・生徒にとっては想像もつかない別世界のように感じている。

これから、地区全体で組織的な支援体制を確立するためには、関係者全員が彼らの世界を想像し、われわれの方から、彼らの世界へ入っていく努力をしていかなければならないと思われる。

障害を乗り越えて社会参加させるための県教委の施策事業にお手伝いさせていただき、また学校現場で働くという貴重な体験をさせていただいたことを非常に光栄に思っております。

職場開拓のための事業所巡回では、学校概要、進路情報紙、新聞記事等で

学校の実情を説明しお願いするというのが一つのパターンでした。どこの事業所もトップに立っている方々は教育と福祉に強い関心がありましたので、しっかり話を聞いて理解を示してくれました。そのようなことで、巡回では一度も大変な思いをしたことがありませんでした。協力していただいた事業主の方々には本当に感謝しております。

キャリア教育充実事業の一環で、外部講師を招いての人材活用授業が清掃、木工、陶芸、凧作り、お菓子作り、そば打ち、介護体験など多彩なプログラムで実施されました。着目したいのは講師になっていただいた方々です。授業が終わってスナップ写真を届けながらお礼に伺うのですが、講師の皆さんはすっかりむつ養護学校の支援者になってくださり、心強く感じました。

P T A は学校が子供たちにより良い教育ができるように、保護者が学校に協力する会だと言われていますが、それが学校教育を監視したり、注文や要求をする会になっているケースが往々にしてあります。むつ養護学校に限っては学校行事に非常に協力的で、運動会一つを取り上げても保護者の皆さんが総出で準備から後片付けの最後まで張り切って協力しているのには感心させられました。現場実習見学会や施設見学会等への積極的な参加などから見ても、保護者間のチームワークによる協力体制がこのような結果を生んでいるのだと感じました。

その他、地域の職場の現状を知ることなどを目的に夏季休業期間中実施している先生方の職場体験実習、海上自衛隊大湊音楽隊のご好意により開催されている演奏鑑賞会、「卒業生と親の会」主催で多くの卒業生が毎年楽しみにしている親子レクリエーション及びふれあいボウリング大会などは、むつ養護学校独自の試みから始まった行事だと伺っております。素晴らしいことだと思います。

最後に一人でも多くの生徒が卒業後家庭にとどまらず、障害を乗り越えて社会参加できるように、地域全体で支援の手を差し伸べられるような社会になることを願うとともに、お世話になったむつ養護学校での経験を生かし、今後、少しでも特別支援教育のために手助けできればと思っております。



カ 三八地域スクールジョブマネージャー 浜谷 徳平 氏

平成 23 年 4 月青森県教育庁学校教育課（特別支援教育推進室）より委嘱を受け、特別支援教育の現場の知識がないまま、受託することになってから 7 ヶ月が過ぎました。

前職が、階上町を中心とする地域の小規模企業者の経営指導だったことから、当初は階上町を中心に活動してまいりました。階上町の企業は、零細小規模経営が多く、従業員を雇用している事業所は少なく、とりあえず 20 件の企業をリストアップして個別に巡回し、職務の挨拶と実習受け入れのお願いをいたしました。



時期的には、経済不況の続く中、3月11日の東日本大震災により被害を受けた事業所も多く、その影響で失業者も出る等、健常者も就職が困難で厳しい現況でありましたので、進路指導担当者との連携を密にしながら活動しました。その結果、殆どの企業は実習受け入れを考えても良いとのことでしたが、大型店（スーパー等）は本社での決裁が必要であるため保留となりました。また、製造業者については、災害の影響で今年は無理との返事でした。

ところで、高等部3年生は、状況に応じて個別に現場実習をしています。また高等部2年生は、5～6月に一斉現場実習が行われました。その間、生徒の実習先（受け入れ企業）を検討、できるだけ生徒の出身地に近いところということで選択した結果、全体的には5社のうち新規事業所は特別養護老人ホーム1件、縫製業1件の2件でした。

受け入れにあたっての課題は、受け入れる事業所や施設運営者があっても交通アクセスが悪いため、利用できる交通機関がなく、送迎できる会社を選択するしかないということです。

次に、三八地区商工会及び八戸商工会議所を訪問し、ご挨拶と実習受け入れのお願いをしました。また、階上町役場を訪問して誘致企業の紹介をお願いしました。特に、通勤のための交通事情が充実している八戸市で営業している企業を紹介していただくため、八戸商工会議所を訪問し依頼した結果、11件（八戸市5件、階上町2件、田子町2件、八戸市南郷区2件）の紹介がありました。進路指導担当者の実習体験の受け入れについてお願いしたところ、受け入れの方向で概ね了解していただき、

今後期待できるものと思われます。これまで、新規事業所開拓のため巡回した事業所並びに関係機関は、延べ45件でした。

現場受け入れについての課題は、通勤の問題です。八戸市内を運行する市営バス、南部バス、十和田観光電鉄の路線バス利用者減少に歯止めがかからないとのことで、赤字や路線撤退など悪循環になっていることが新聞にも掲載され、郡部は勿論のこと八戸市においても交通アクセスが非常に悪く、通勤が困難な状況にあります。就職するためには、会社へ送迎バスや寮があること、また、車の運転ができることなどが条件になると思います。

平成23年5月より職場体験学習等にかかわる事前学習、通勤練習から職場での作業体験など、いろいろな職場で生徒達と一緒に様々な経験をさせていただきました。元気な挨拶ができる生徒、体力的な不足を気持ちでカバーする生徒等々生徒達の状況も様々ですが、生徒各々に素直で一生懸命頑張っている姿に感動しました。

今回、新規事業所開拓にかかわって体験できたことに感謝申し上げるとともに、生徒達が自分の持てる力を精一杯発揮できるようにこれからも応援していきたいと思ひます。



2 サポーター一覧

(1) 東青地域

(2) 西北地域

(3) 中南地域

(4) 上北地域

(5) 下北地域

(6) 三八地域

(1) 東青地域

区分	事業所・施設・団体等名	備考
事業所名	・有限会社 アップル・アオモリ	現場実習受入先
	・青森自然公園ねぶたの里	現場実習受入先
	・株式会社 青森ともや	現場実習受入先
	・株式会社 油川電気	
	・株式会社 アラスカ	現場実習受入先
	・株式会社 オカムラ食品工業	現場実習受入先
	・青森県漁業協同組合連合会	現場実習受入先
	・株式会社 ぐるめ	現場実習受入先
	・株式会社 コーセイ印刷	
	・越友産業 株式会社	
	・有限会社 今建築	
	・有限会社 渋谷種苗店	現場実習受入先
	・青森県庁消費生活協同組合	現場実習受入先
	・有限会社 丸高高橋蒲鉾店	現場実習受入先
	・有限会社 上ボシ武内製飴所	現場実習受入先
	・有限会社 中部食品	
	・株式会社 津島自動車	現場実習受入先
	・有限会社 ツルヤ	現場実習受入先
	・株式会社 クリーンサービス青森	現場実習受入先
	・東洋光伸 株式会社	現場実習受入先
	・株式会社 東洋社	現場実習受入先
	・有限会社 とみつる	現場実習受入先
	・株式会社 南部屋旅館	現場実習受入先
	・有限会社 新田自動車工業	現場実習受入先
	・株式会社 はとや製菓	現場実習受入先
	・有限会社 日野工産青森販売	
	・株式会社 福島屋	就労生活支援連絡会代表
	・企業組合 みちのくクリーナース	現場実習受入先
	・株式会社 蓬田グリーン開発	現場実習受入先
	・有限会社 ローズリー資源	
・株式会社 アップルヒル	現場実習受入先	
・成商ビル管理株式会社	現場実習受入先	
・特定非営利活動法人 夢の里	現場実習受入先	
・株式会社 逢坂建設ホームプラン		
施設名	・青森県知的障害者総合福祉センター なつどまり	
	・青森コロニーセンター	
	・青森県すこやか福祉事業団 八甲学園	
	・青森藤チャレンジド就業・生活支援センター	

(2) 西北地域

区分	事業所・施設・団体等名	備考
事業所名	・カップクリエイイト株式会社 かつぱ寿司五所川原店	現場実習受入先
	・マエダストア鯨ヶ沢店	現場実習受入先
	・ユニバース五所川原東店	現場実習受入先
	・五所川原街づくり株式会社	現場実習受入先
	・清野菓子店	現場実習受入先
	・ホテルサンルート五所川原	外部講師（地域の人材活用）
	・ホテルサンルートパティオ五所川原	現場実習受入先
	・つがる地球村	現場実習受入先
施設名	・長谷川自然牧場	現場実習受入先
	・(有) 修清 夢の森	現場実習受入先
	・ジョブサポート八晃園	就労生活支援連絡会
	・ワークサポート八晃園	現場実習受入先
	・ステラ	現場実習受入先
	・鶴花塾	現場実習受入先
	・いわきの里	現場実習受入先
	・夢工房月見野	現場実習受入先
	・月見野食房	現場実習受入先
	・月見野園	現場実習受入先
	・ゆきあいの里	現場実習受入先
	・ワークセンターのれぞれ	現場実習受入先
	・第二うちがた	現場実習受入先
	・飛翔食房	現場実習受入先
	・MEGO	現場実習受入先
	・ひまわりの家	現場実習受入先
	・あいゆう工房	現場実習受入先
	・第2サントピアホーム	現場実習受入先
	・ワークセンターつばき	現場実習受入先
	・つがるの里	現場実習受入先
・栄幸園	現場実習受入先	
・青松園	現場実習受入先	
・三和の里	現場実習受入先	
・拓光園	現場実習受入先	
・森田学園		
団体名	・障害者就業・生活支援センター月見野	就労生活支援連絡会
	・つがる市社会福祉協議会	外部講師（地域の人材活用）
	・五所川原公共職業安定所	
	・津軽障害者就業・生活支援センター	

(3) 中南地域

区分	事業所・施設・団体等名	備考
事業所名	・株式会社イトーヨーカ堂 弘前店	現場実習受入先
	・イマジン株式会社 弘前プラザホテル	現場実習受入先
	・カップ・クリエイト株式会社 かつぱ寿司弘前安原店	現場実習受入先
	・株式会社クリンテック	現場実習受入先
	・津軽塗製造元小林漆器	現場実習受入先
	・株式会社さくら野百貨店 弘前店	現場実習受入先
	・株式会社佐藤長 浜の町店	現場実習受入先
	・株式会社佐藤長 大原店	現場実習受入先
	・株式会社サポート大樹	現場実習受入先
	・株式会社サンデー 弘前安原店	現場実習受入先
	・株式会社サンデー 弘前石渡店	現場実習受入先
	・特別養護老人ホーム 松山荘	現場実習受入先
	・生活協同組合コープあおもり 桜ヶ丘店	現場実習受入先
	・嶽開発株式会社	現場実習受入先
	・株式会社田中屋	現場実習受入先
	・障害者支援施設 千年園	現場実習受入先
	・有限会社東北ビルプラン	現場実習受入先
	・紅屋商事株式会社 カブセンター弘前店	現場実習受入先
	・日本パルスモーター株式会社 岩木工場	現場実習受入先
	・株式会社弘前ドライクリーニング工場	現場実習受入先
・マックスバリュ東北株式会社 安原店	現場実習受入先	
・マックスバリュ東北株式会社 樋の口店	現場実習受入先	
施設名	・就労継続支援センター あいゆう工房	現場実習受入先
	・地域活動センター あうんⅡ	現場実習受入先
	・就労継続支援B型・生活介護事業所 エイブル	現場実習受入先
	・知的障害者通所授産施設 カリフラワー	現場実習受入先
	・就労継続支援B型事業所 玄輝門	現場実習受入先
	・多機能型事業所 就労サポートひろさき	現場実習受入先
	・障害者支援施設 拓光園	現場実習受入先
	・障害福祉サービス事業所 であいの家あうん	現場実習受入先
	・指定生活介護事業所 みらいの里	現場実習受入先
	・南黒地方福祉事務組合	現場実習受入先
	知的障害児入所施設	
	併設型指定障害者支援施設	
	併設型指定生活介護施設 もみじ学園	
・知的障害者支援施設 弘前市弥生荘	現場実習受入先	
・就労継続支援B型 ゆいまある	現場実習受入先	

	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能型障害福祉サービス事業所 りんごの里 ・就労継続支援B型事業所 ワークショップ大鱈 ・知的障害者通所授産施設 ワークランド茜 	現場実習受入先 現場実習受入先 現場実習受入先
団体名	・津軽障害者就業・生活支援センター	
	・弘前公共職業安定所	

(4) 上北地域

区分	事業所・施設・団体等名	備考
事業所名	・育栄管財株式会社	現場実習受入先
	・浜三沢保育所	現場実習受入先
	・東管工業株式会社	現場実習受入先
	・特別養護老人ホームひばり苑	現場実習受入先
	・特別養護老人ホーム野辺地ホーム	現場実習受入先
	・特別養護老人ホーム八甲荘	現場実習受入先
	・介護老人保健施設みのり苑	現場実習受入先
	・有限会社遠藤商店	現場実習受入先
	・有限会社ループ	現場実習受入先
	・有限会社つたや会館	現場実習受入先
・きざん三沢	現場実習受入先	
施設名	・障害者地域生活支援センターぴあ	現場実習受入先
	・ワークランドつばさ	現場実習受入先
	・キッズスペースオハナ	現場実習受入先
	・サポートセンターオハナ	現場実習受入先
	・公立もくもっく	現場実習受入先
	・農工園千里平	現場実習受入先
	・おいらせサポートハウス Kの家	現場実習受入先
	・農楽郷 h i b i k i	現場実習受入先
	・農園カフェ日々木	現場実習受入先
	・あすなろクリーナーズ	現場実習受入先
	・かけはし寮	現場実習受入先
	・相談支援事業所かけはし	現場実習受入先
	・工房あぐりの里	現場実習受入先
	・あかしや寮	現場実習受入先
	・サポートセンター虹	現場実習受入先
	・クリエイティブサポートぷちぶろ	現場実習受入先
	・城西の杜	現場実習受入先
	・公立ぎんなん寮	現場実習受入先
	・けやき寮	現場実習受入先
	・クローバー作業所	現場実習受入先
・おおばこ作業所	現場実習受入先	
・公立からまつ寮	現場実習受入先	
・心のとも作業所	現場実習受入先	
団体名	・三沢地区障がい者就労支援連絡会	
	・三沢市社会教育団体 お助けマンクラブ	
	・財団法人こころすこやか財団	

(5) 下北地域

区分	事業所・施設・団体等名	備考
事業所名	・株式会社 マエダ	就労生活支連協実行委員
	・有限会社 キクチクリーニング	就労生活支連協実行委員
	・有限会社 アメニティ・イン 悠	就労生活支連協実行委員
	・障がい者就労支援事業所 ひろばのまんま	就労生活支連協実行委員
	・有限会社 中西建具センター 工房木の夢 なかにし	外部講師・体験受入先
	・東洋建物管理株式会社 むつ営業所	外部講師・実習受入先
	・株式会社 一心亭 むつ店	実習受入先
	・特別養護老人ホーム 桜木園	実習受入先
	・特別養護老人ホーム みちのく荘	実習受入先
	・アツギ東北株式会社 むつ事業所	実習受入先
	・ユニバース むつ旭町店	実習受入先
	・かっぱ寿司 むつ店	実習受入先
	・むつグリーンホテル	実習受入先
	・ホテルユニサイトむつ	実習受入先
	・むつグランドホテル	実習受入先
・はねやホテル	実習受入先	
・農業生産法人（有）エムケイヴィンヤード	実習受入先	
施設名	・知的障害者更生施設 陽幸園	就労生活支連協実行委員
	・障害福祉サービス事業所 工房「歩み」	実習受入先
	・知的障害者更生施設 しもきた療育園	実習受入先
	・知的障害者更生施設（通所）すまいる	実習受入先
	・NPO法人 アックス工房	実習受入先
	・障害者通所施設 ふれいあの郷 田屋	実習受入先
	・生活介護事業所 となみデイサービスセンター	実習受入先
	・自立訓練事業所 ハートランドさくら	実習受入先
	・就労移行支援事業所 「勇気」下北	実習受入先
	・障害者総合福祉センターなつどまり さつき寮	実習受入先
	・知的障害者通所更生施設 城西の杜	実習受入先
	・知的障害者通所授産施設 クローバー作業所	実習受入先
・障害者支援施設 かけはし寮	実習受入先	
団体名	・青森県立むつ養護学校 就労・生活支援連絡協議会	地域連携
	・青森障害者職業センター	地域移行支援会議
	・むつ公共職業安定所	地域移行支援会議
	・むつ市保健福祉部障害福祉課	地域移行支援会議
	・下北障がい者サポートセンター	地域移行支援会議
	・NPO法人むつ下北子育て支援ネットワーク ひろば	地域移行支援会議
	・むつ市地域自立支援協議会	地域資源情報収集

(6) 三八地域

区分	事業所・施設・団体等名	備考
事業所名	・(有)八食市場寿司	現場実習受入先
	・(株)八食サービスエイト	〃
	・生活協同組合コープあおもり るいけ店	〃
	・株式会社ジョン	〃
	・ニッコウテクノ(株)	〃
	・有限会社マルキョウスマイルフーズ	〃
	・株式会社ビー・アイ運送	〃
	・デイサービスセンター臥牛苑	〃
	・株式会社ライケット	〃
	・株式会社丸昌工藤商店	〃
・イオンスーパーセンター株式会社	〃	
施設名	障害者就業・生活支援センターみなと	就労生活支援連絡会員
	就労移行支援事業所わーくみなと	〃
	就労移行支援事業所柿の木苑	〃
	就労移行支援事業所ジョイフルパークユートピア	〃
	就労移行支援事業所クローバーズ・ピア八戸東	〃
	就労移行支援事業所第二のぞみ園	〃
	就労移行支援事業所ふれ愛プラザあおぼ	〃
	就労移行支援事業所うみねこ幸房	〃
	就労移行支援事業所こだまの園	〃
就労移行支援事業所青森ワークキャンパス	〃	
就労移行支援事業所 i D E N D	〃	
団体名	・八戸市障がい者就労支援ネットワーク化団体	就労生活支援連絡会員
	・八戸職親会	〃
	・NPO法人八戸地域障害者職親会	〃
	・八戸市障がい児・者支援連絡協議会	〃
	・八戸市社会福祉協議会	〃
	・八戸市障がい福祉課	〃
	・八戸市雇用支援対策課	〃
・八戸公共職業安定所	〃	

3 青森県特別支援学校キャリア教育充実事業

- (1) **これまでの取組**
- (2) **本事業の趣旨**
- (3) **本事業の取組状況**
- (4) **就職状況と職場定着状況**
- (5) **今後の課題**

3 青森県特別支援学校キャリア教育充実事業

(1) これまでの取組【※図1参照】

特別支援学校高等部を卒業し就職した多くの生徒が、在学中にインターンシップを実施した事業所に雇用されるなど、特別支援学校高等部生徒の就職支援においてインターンシップが効果的であることから、県教育委員会ではその促進に向け、平成18・19年度重点事業「特別支援学校就職力アップ推進事業」を実施しました。本事業では、県内6地域に配置した就職力アップ推進員と学校が協働で、高等部生徒のインターンシップ協力事業所数の拡大を図った結果、就職者数の増加につながりました。しかし、職場定着に関する課題が新たに生まれ、その対応が必要となりました。

そこで、平成20・21年度重点事業「高等部生徒の社会参加支援事業」を実施し、県内6地区の特別支援学校6校に配置したフォローアップ支援員とともに、就職した卒業生やその保護者、事業主へのフォローアップをきめ細かに行った結果、就職した卒業生の職場定着率の向上につながりました。一方、職域の拡大等、更なる進路実現を図るためには、生活面を含めた総合的な就労支援をする必要があり、キャリア教育の推進とともに、地域の関係者による体制整備を図ることが急務となってきました。

(2) 本事業の趣旨

青森県特別支援学校キャリア教育充実事業は、就労面や生活面にかかわる地域の人材による支援の組織化を進め、進路指導や職業教育等にそれらの人材を活用することで、児童生徒のキャリア教育の充実と教員の進路指導及び職業教育に関する指導方法の向上を図ることとしました。また、県内6地区の県立特別支援学校6校に、地域の人材と学校をつなぐ役割を持つスクールジョブマネージャーを配置し、学校が必要とする地域の人材を見つけ出し、授業等への参加などの連絡・調整等を行うこととしました。

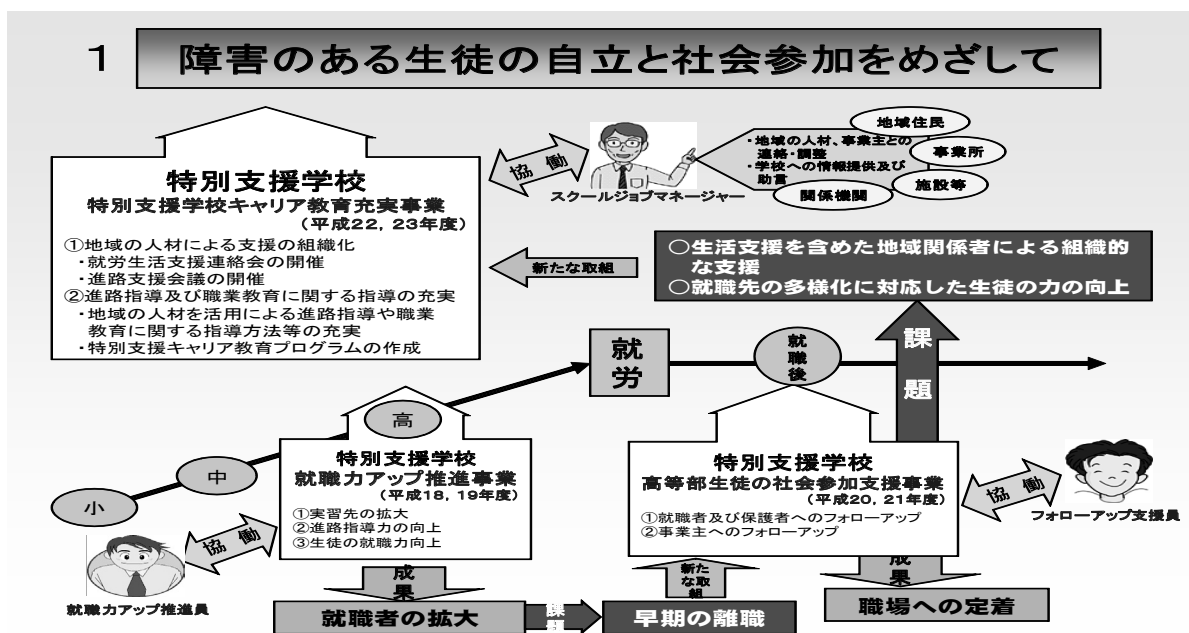


図1 障害のある生徒の自立と社会参加をめざして

(3) 本事業の取組状況

ア 就労生活支援連絡会

県内6地域において、障害のある生徒一人一人の卒業後の進路に関する情報の共有と地区の支援体制の組織化（ネットワークの強化）を図るために、障害のある生徒を受け入れている事業主や施設運営者など生活面を支えている方々と行政関係者が集まり、就労生活支援連絡会を開催しました。

平成22年度は、県内で11回開催し、257名の出席がありました。また、平成23年度は、県内で14回開催し、426名の出席がありました。（平成24年2月29日現在）

本連絡会の開催により、グループホームを体験しながら、事業所でのインターンシップを行うことができるようになるなど、事業主と施設運営者の連携が図られ、卒業後の新たな就労及び生活の環境へスムーズな移行ができるようになりました。

イ 進路支援会議

高等部生徒の進路の拡充を図るために、本人や保護者、事業主、施設運営者、障害者就業・生活支援センター等の関係者が集まり、進路支援会議を開催しました。

平成22年度は、県内6地域で23回開催されました。

平成23年度は、県内6地域で36回開催され、地域の保健師や児童相談所の相談員の出席もありました。（平成24年2月29日現在）

会議では、具体的な進路先や卒業後に必要な支援内容や方法、体制等について、様々な立場から意見やアイデアが出され、保護者から、「これで安心した。学校を卒業しても、みんなで守ってくれる。」という声が聞かれたところもありました。

ウ 地域の人材を活用した進路指導や職業教育等の授業

県立特別支援学校では、児童生徒のキャリア教育の充実と教員の進路指導及び職業教育に関する指導力の向上を図るために、ビルメンテナンス会社やレストラン、アナウンサー等、地域の様々な職種の人材を招き、特色ある授業を展開してきました。

平成22年度は、85事業所から117名の地域の人材を招いて授業等を行いました。

生徒たちは、インターンシップを前に、学校において専門的な知識や技術等を学ぶことができ、その後のインターンシップに安心して望むことができました。

エ キャリア教育研修会

平成22年度は、県内4地域（青森市、弘前市、八戸市、むつ市）において、国立特別支援教育総合研究所主任研究員 菊地一文 氏を講師に迎え、特別支援学校キャリア教育研修会を開催しました。また、保護者、教育、保健、福祉、労働機関等の関係者を対象に、特別支援教育におけるキャリア教育についての講演とシンポジウムを行、障害のある児童生徒のキャリア教育の考え方と、障害者を支援する関係機関の取組について理解を深めることができました。

平成23年度は、11月に、津軽地区と県南地区において、京都市立白河総合支援学校長 森脇勤 氏を講師に迎えて、青森県特別支援学校キャリア教育研修会を開催しました。森脇氏からは、「学校のカタチ～キャリア教育の視点によるデュアルシステムと地域協働活動～」と題して、特別支援学校におけるキャリア教育を経営の柱に据えた先進的な取組の実際について、講演をいただきました。また、12月には、特別支援教育総合研究所主任研究員 菊地一文 氏を講師に迎え、青森県特別支援学校キャリア教育研修会を開催し、キャリア発達の視点を踏まえた授業と教育課程の改善について講演をいただきました。

(4) 就職状況と職場定着状況

平成17年度以降の県立特別支援学校高等部の就職状況及び職場定着状況については、表1に示すとおりです。就職希望者に対する就職者の割合（就職率）は、平成21年度から90%を超えています。

職場定着状況については、表2に示すとおりです。高等部卒業者の卒業後3年後の職場定着率は80%を超えています。卒業後、職場に定着し、地域の支援を受けながら安定した生活を送っている生徒が増えてきています。

表1

県立特別支援学校高等部卒業者の就職状況

年 度	卒業生数(人)	就 職		
		就職希望者数 (人)	就職者数(人)	就職率
				就職者数 就職希望者数
17	216	53	37	69.8%
18	216	47	36	76.6%
19	211	57	49	86.0%
20	193	49	43	87.8%
21	193	62	61	98.4%
22	202	54	52	96.3%

表2

県立特別支援学校高等部を卒業した者の卒業後3年後の職場定着率

卒業後3年後の年度	卒業年度	卒業者数 (人)	就職者数 (人)	離職者数 (人)	定着率
平成17年度 (平成18年3月31日現在)	14	174	44	20	54.5%
平成18年度 (平成19年3月31日現在)	15	172	25	8	68.0%
平成19年度 (平成20年3月31日現在)	16	180	32	7	78.1%
平成20年度 (平成21年3月31日現在)	17	216	37	7	81.1%
平成21年度 (平成22年3月31日現在)	18	216	36	7	80.6%
平成22年度 (平成23年3月31日現在)	19	211	49	7	85.7%

(5) 今後の課題 (平成23年度第2回青森県特別支援学校キャリア教育充実事業運営協議会から)

ア 就労生活支援連絡会

- (ア) 地域によっては、他機関による支援会議も開催されていることから、会議の趣旨や内容について、他機関と調整していく必要があります。
- (イ) 障害のある生徒の就労や生活において、総合的に支援する体制ができたことから、労働や福祉等の関係機関の連携強化と組織の機能化が必要です。

イ 進路支援会議

- (ア) 各地域において、卒業学年の生徒を主な対象として行ってきましたが、卒業後の就労や生活については、早期から、本人や保護者、関係機関が集まり協議する必要があります。
- (イ) 卒業学年の生徒については、移行支援会議の趣旨や内容について整理していく必要があります。

ウ 地域の人材を活用した進路指導や職業教育等の授業

- (ア) 地域の人材を活用した授業について、幾つかの学校から継続したいという要望が出されていますので、謝金等の経費について検討する必要があります。
- (イ) 今後は、生徒自身が「働きたい」、「就職したい」と思えるような指導を、早期から行っていく必要があります。

おわりに

本事例集は、各県立特別支援学校のキャリア教育に関する取組を障害種別ごとに紹介していますので、小中学校の特別支援学級におけるキャリア教育の実践の参考として次の観点から活用いただければ幸いです。

○授業の見直し・改善

「(2) 青森県特別支援学校キャリア教育取組事例」では、各障害種別ごとに各学部の指導事例を紹介しています。キャリア発達の視点で授業を見直す際に、参考となります。

○地域の人材リスト

「(3) 地域の人材を活用した授業事例」では、県立特別支援学校19校で取り組んだ授業の一部を事例として紹介しています。各障害種別の授業の展開等の参考や地域の人材リストとして活用できます。

○地域人材コーディネートのノウハウ

「(4) 各地域のスクールジョブマネージャーの取組」では、スクールジョブマネージャーが学校で必要とする地域の人材をコーディネートしてきたノウハウや本事業に対する思いを紹介しています。

○特別な教育的ニーズのある児童生徒のキャリア教育サポーター

「(5) 特別支援学校の児童生徒の生活や就労等のサポーター一覧」では、地域のサポーターの一部を紹介しています。学校や児童生徒の状況に合わせ、地域のサポーターリストとして活用できます。

各校編集協力者一覧

学 校 名	職 名	氏 名
青 森 県 立 盲 学 校	教 諭	伊 藤 庄 二
青 森 県 立 八 戸 盲 学 校	教 諭	増 尾 美 香
青 森 県 立 青 森 聾 学 校	教 諭	齋 藤 満
青 森 県 立 弘 前 聾 学 校	教 諭	福 士 容 子
青 森 県 立 八 戸 聾 学 校	教 諭	上 條 俊 夫
青 森 県 立 青 森 第 一 養 護 学 校	教 諭	高 橋 和 子
青 森 県 立 青 森 第 二 養 護 学 校	教 諭	石 戸 谷 恒 鋭
青 森 県 立 青 森 若 葉 養 護 学 校	教 諭	阿 部 太 一
青 森 県 立 青 森 第 一 高 等 養 護 学 校	教 諭	山 田 徹
青 森 県 立 青 森 第 二 高 等 養 護 学 校	教 諭	木 村 憲 一
青 森 県 立 弘 前 第 一 養 護 学 校	教 諭	須 藤 誠
青 森 県 立 弘 前 第 二 養 護 学 校	教 諭	下 山 永 子
青 森 県 立 八 戸 第 一 養 護 学 校	教 諭	三 瓶 共 行
青 森 県 立 八 戸 第 二 養 護 学 校	教 諭	中 村 一 晴
青 森 県 立 森 田 養 護 学 校	教 諭	民 谷 千 里
青 森 県 立 黒 石 養 護 学 校	教 諭	赤 平 恵 理 子
青 森 県 立 浪 岡 養 護 学 校	教 諭	小 坂 春 樹
青 森 県 立 七 戸 養 護 学 校	教 諭	松 橋 浩 仁
青 森 県 立 む つ 養 護 学 校	教 諭	藤 川 治 也

なお、県教育庁においては、次の者が編集にあたった。

中 村 充	県教育庁学校教育課長
西 谷 寿 彦	県教育庁学校教育課長代理
川 村 泰 弘	県教育庁学校教育課特別支援教育推進室長
甲 田 隆	県教育庁学校教育課特別支援教育推進室主任指導主事
大 崎 光 幸	県教育庁学校教育課特別支援教育推進室指導主事
小松崎 明	県教育庁学校教育課特別支援教育推進室指導主事
湯 田 秀 樹	県教育庁学校教育課特別支援教育推進室指導主事